

全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会 7 月度理事会議事録

平成 22 年 7 月 21 日 (水) 午後 7 時～

於：大阪産業創造館 6 階会議室 E 出席クラブ 40 クラブ(欠席 2 クラブ)

■池田協会長挨拶

- ・皆さんに、ライフジャケットについて話があります。当初の値段より、500 円安く購入できたので、本日、各クラブに返金をいたします。
- ・先日の、クラブ対抗キスへの参加ありがとうございます。毎回釣れない大会でありましたが、今回は、過去最高に釣れた大会となりました。全体で釣れた重量は 230kg 釣れ、参加された選手の皆様には喜んでいただけたと思います。今日は暑い日ですが、これからますます暑い日が続きますので、熱中症には充分注意して下さい。
- ・藤原副会長を議長として 19 時 10 分議事に入る。

第 1 号議案 全日本サーフキャスティング連盟本部 7 月常任委員会報告 (池田協会長) (連盟議事録から転載)

日時：平成 22 年 7 月 7 日 (水) 場所：新大阪丸ビル

■議題 1

第 92 回全日本キス投げ釣り選手大会 P T 長崎協会

成績表配布

- ・理事の意見⇒成績表に表記されている氏名の間を全角空けてほしい。また魚名が大物申請時の表記と違う。この辺りの統一を図って欲しい。
- ・本部回答⇒大会関連に提出していただく書類は P T から、様式化したものをデータでお送りした上で、貼り付け作業をしています。したがって協会および釣り場責任者は、理事ご指摘の部分を適正に処理していただければ問題解決と同時に P T の事務作業軽減にも繋がります。今後は、一定期間をおき、周知徹底が図られるまでは P T で修正作業をおこないます。

各種入賞確定報告

- ・入賞は全参加者 (1887 名) の 20% (377 名) 割合は本賞 4 (302 位) : 他魚 1 (75 位) また、盾表彰は入賞の本賞 91 位・他魚 23 位。副賞の釣具は 50 賞 (本賞 40 位・他魚 10 位) / 飛び賞 4 (本賞 3・他魚 1)、B B 賞 1 (本賞)、ラッキー賞 132 本 (副賞該当者を除き、全提出審査票を抽選にて決定) です。

抽選作業

- ・飛び賞 (本賞) 11 位～40 位対象・15 位 (兵庫・遊魚会・武田朝信さん) 16 位 (岡山・倉敷ソロットサーフ・建部光明さん) 39 位 (徳島・碧水サーフ・東野和夫さん)
- ・飛び賞 (他魚) 6 位～10 位対象・7 位 (兵庫・レインボーキャスターズ・池田成寿さん)
- ・B B 賞⇒本賞 409 位 (兵庫・神戸パル F C・山本宗浩さん)
- ・回数賞⇒本賞 92 位 (大阪・高槻サーフ・上田英雄さん)

賞品のお渡し

- ・副賞の釣具は成績確定の翌日 (8 日) 釣具店またはメーカーから、協会長宛に発送しました。また、今回も上位入賞者には希望する賞品 (釣具) を進呈しております。
- ・ラッキー賞については、該当者出席協会長にお持ち帰りいただき、欠席協会分については送付 (8 日) しました。

成績表開示

- ・全日本サーフのホームページ (大会広報) に掲載しております。会報は 232 号で掲載いたします。

☆全キス関連は全て承認されました。

■議題 2

第 33 回東西投げ釣り選抜 100 人の会 P T 本部/中部協会

木村中部協会長（競技担当）

- ・遠く宮城や九州方面からご参加いただきありがとうございます。予選は生憎の雨でしたが、決勝戦は回復した天候の下でおこなわれました。尚、競技の細部に些かの混乱が発生し、参加者の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫びいたします。

大田事務局長

- ・今大会のエントリーは選手が東西合わせて 115 名、役員 13 名、メーカー関係者 17 名の合計 145 名でありました。

連盟会長

- ・当該行事は慣例により、日本海側（北陸協会）と太平洋側（中部協会）に於いて交互に開催している。参加選手から、年によってルールに違いがあるので、混乱を覚えると意見が寄せられる。確かに競技である以上は統一したルールにすることは基本的なことである。次回から、統一したルールにするよう、関係者の協議により競技マニュアルを作成する。また、開会式に於いて選手が速やかに本部席前に整列できるよう、ブロック別のプラカードを作成する。

成績表

- ・宗貞事務局次長より配布される。関連として 40 位までに同匹数が多く、決定までに大変時間を要した。次回から同様のおりは、上位を残し、事前抽選などで順位を決定しておいてほしい。尚、成績は全日本サーフのホームページ（大会広報）でも掲載しています。

■議題 3

第 42 回クラブ対抗キス投げ釣り選手権大会 P T 大阪協会

池田大阪協会長

- ・大会に向けての準備は万端整った。参加者は 89 チーム、250 名です。尚、今回は参議院選挙と重なったため、大会本部を同一敷地内の別館（福祉センター）に移して開催する。駐車場については前年と同じだがトイレは福祉センターに隣接する公衆トイレを使用してください。その他詳細については当日案内または誘導 などもおこないます。

議題 4

全日本キャスティング選手権大会 P T 兵庫協会

谷後兵庫協会長

- ・大会要項は 5 月に配布しております。締め切りについても要項に表しております通り（9 月 5 日）で厳守願います。
- ・競技会場の整備および関連器具・施設の手配は本部から広島協会まで要請するよう、お願いします。

競技運営（松井 S C 部長）

- ・大会は全参加選手で運営することが基本です。特に会場設営や撤収などにおいて各選手とも一致協力しておこなっていただきたい。毎回の設営・片付けにおいて、ご自身の用具準備・仕舞いに専念している方が見られると苦情が寄せられます。

記録速報（菅原北海道協会長）

- ・以前実施していた記録速報の会場掲示をおこなってほしい。この措置は競技をしている選手には大変ありがたい。
- ・谷後協会長の回答⇒運営人員の増加になり、難しい点もあるが、出来る限り要望にお応えする。

■議題 5

第 93 回全日本カレイ投げ釣り選手権大会 P T 大分協会

会場申請（井上 P T 欠席・大田事務局長代読）

- ・会場申請の締め切りは 7 月 25 日（日）です。本日まで福井会場 1 件の申請が届いています。

■議題 6

大物部会報告 大物部会

大物号数 300 号達成（としだ大物部長）

- ・現時点で大物号数の満願となる 300 号に間近の会員が 3 名います。達成者には功績を称え、記念となるものを進呈することを考えています。

- ・大物 300 号に達した後の申請方法は、ステージⅡの新設を大物部会で企画いたします。
- ・申請寸法（Dランク）の見直しを 300 号達成後に検討いたします。対象魚はシロギス・キュウセン・特別大物のホッケです。いずれも大物申請の現状に合わず、申請の活性化を図る目的で協議して参ります。

連盟会長

- ・大物部会に限らず部会審議の事項は決定ではありません。決定は即応性が求められる事項は常任理事会の承認を得てから総会の追認を受け、急がない事項については総会まで待って承認を得ることが基本です。しかし、専門分野的な事項を大勢で審議すると総論賛成、各論反対になりがちです。したがって常任理事会に於いては部会の提案事項を尊重するものとしていただきたい。

■議題 7

その他

SC 協会対抗戦収支報告 P T 愛媛協会長

- ・岡田協会長⇒報告書は 6 月役員会で提出しています。本日は常任理事会であります。収支報告の承認をよろしく願いいたします。
 - ・宗貞監査役⇒P T 提出の報告書に添付されていた各種資料を精査した結果、適正に処理されています。
- ☆上記は承認されました。

SC 関連事項 松井 SC 部長

当日保険

- ・SC 大会の開催に際し、加入することが必要な当日保険ですが、協会主催では引き受け会社の規制まではおこなわないとしていました。しかし、加入証明書の未提出や引き受け会社の競技認識に充分でない面があり、事故発生のおり、関連事項でトラブルが予見される。したがって次年度から、連盟全体で加入している包括責任保険を拡大活用したい。したがって開催協会は開催届けと終了した時点で成績表を SC 部に提出すれば、実参加数に見合う保険料を支払っていただくようになります。これによって協会サイドでは当日保険に加入する必要はありません。

北海道視察

- ・北海道に於ける SC 人口拡大を目的に連盟会長と 6 月 13 日に出向いた。現地では北海道オープン大会の開催日であり、他団体からも大勢の参加者があり、立派な会場に併せ、記録面においてもレベルの高さが伺えました。

連盟会長

- ・当初は連盟行事に格上げと構想もしていましたが、色々と規制も伴うことから、ここでの記録を公認記録として認めることで、視察に赴きました。会場については現在連盟でおこなっているものより、勝るとも劣らずのものであり、何ら問題はありません。一箇所しかない公認会場と地理的事情も考慮して対応したい。したがって、記録公認の大会として開催できるよう、関連部署と常任理事会の審議をよろしく願います。
- ☆上記は継続して審議いたします。

周年記念大会について

宮城協会

- ・木村宮城協会代理として東海林大物部長より、協会 40 周年記念釣大会の要項について詳細説明がある。それによると釣大会の参加申込みは 9 月末とするが、懇親会会場となるホテルの予約が急がれるので、こちらにも参加される方は締め切りまでに連絡をいただきたいとのことです。

連盟会長より

- ・東海林協会代理にはわざわざの参加要請挨拶にご苦勞様です。遠隔地協会から折角の案内です。大勢の会員さんが参加して宮城協会 40 周年をお祝いしていただきたい。

日本記録魚承認 としだ大物部長

- ・ウシノシタ 59.1 ㍓ (実寸 58.3 ㍓)
片山千秋さん (岡山協会・ダルマサーフ所属) 平成 22 年 5 月 22 日

釣り場 高知県高知市浦戸

- ・クロソイ 62.3 ㌢ (実寸 59.4 ㌢)

柴田匡啓さん (北海道協会・はこだてサーフ所属) 平成 22 年 5 月 30 日

釣り場 北海道松前郡松前町江良漁港

- ・コロダイ 83.9 ㌢ (実寸 80.7 ㌢)

宮岡宏明さん (愛媛協会・長浜サーフ所属) 平成 22 年 5 月 29 日

釣り場 高知県幡多郡大月町一切漁港

- ・コロダイ 87.0 ㌢ (実寸 82.9 ㌢)

野田泰宏さん (愛媛協会・松山リール所属) 平成 22 年 5 月 30 日

釣り場 高知県幡多郡大月町一切漁港

☆上記は全て承認されました。

クリーンアップについて

環境部

- ・渡邊環境部長欠席のため大田事務局長より、関連資料が配布され、代読として「前々から要請している協会長のコメントに 5 協会長 (高知・備後・宮城・長崎・青森) から提出がありません」早急の提出が求められます。

編集部

- ・伊達編集次長⇒45 周年記念誌の修正部分について協会別に修正箇所を記した文書の提出は本日の会議で締め切りました。

事務局

- ・宗貞事務局次長より、7 月 6 日現在の「会員登録状況」資料の配布がありました。

会計部

- ・野村会計部長より、本部会計収支報告書と創立 45 周年記念事業の収支報告書 (いずれも中間) の配布がありました。

以上、7 月常任理事会は各事項について承認および継続・確認事項として会議をおこない 18 時 04 分に閉会いたしました。尚、本日配布された全ての資料は欠席協会長にも事務局から発送いたします。詳しい内容を聞きたい会員さんは協会長までご連絡願います

第 2 号議案 第 9 2 回全日本キス投げ釣り選手権大会報告について

- ・全日本キスの表彰と賞品の授与を行った。
全成績については、連盟ホームページを参照いただきたい。

第 3 号議案 第 4 2 回クラブ対抗キス大会について

- ・連盟常任委員会報告の中にて報告済み。

第 4 号議案 事故防止講習会について (太田事故防止委員長)

・8 月 1 日開催の事故防止講習会について、本日参加受けを行っています、案内文書につきましては、各クラブに配布しています、質疑応答の時間も取っているので各自質問を考えてきて下さい。なお、当日は制服(チョッキ)着用のうえ午後 1 時 30 分に集合をして下さいとの要請があった。

第 5 号議案 協会クラブ混合キス釣り大会について (伊達キス段位制担当)

- ・本日、参加申込受付をしているので、まだのクラブは申込をしてほしい旨要請があった。

第 6 号議案 第 1 2 7 回協会秋季大会について (PT : 大阪サーフ)

- ・9 月理事会で、参加申込受付を行う旨、PT(大阪サーフ)より、報告があった。

第 7 号議案 東西投げ釣り選抜 100 人会報告

- ・連盟常任委員会報告の中にて報告済み。

その他

- ・協会記録更新について（湯浅大物部長）
カワハギの協会記録更新の報告があった
寸法(実寸)・38.1 cm (拓寸)40.0 cm 釣人・滋賀投友会 山本 明 氏
釣場・愛媛県宇和島 九島
- ・広報より（沢田広報部長）
協会ホームページを更新しているので見て下さいとの報告と、大会時における写真の提供に
対してのお礼があった。
- ・大物 300 号達成者について、今後どうしていくかについて、話し合いを行った。今後連盟でも審
議を行い、報告をしていく。

20 時 00 分閉会